



D X 推進計画 2 0 2 4

代表者メッセージ

当社は、お客様に喜んでもらえる仕事を第一に掲げ、社員の安心、安全、働きやすい職場づくりを目指しています。そこで、社員全員が働きやすい環境を整え、品質向上、生産性向上を積極的に進めています。

その手段としてデジタル技術を活用し、DXを推進することで、業務効率化や人員不足の解消を補い、業務の改革と社員ひとりひとりの明るい未来へ向けた活動を進めてまいります。

代表取締役社長 庄島啓司

D X 戦略の目的

【基本方針】

- デジタルの力を活用し、「ペーパーレス化」と「社内外の情報共有」を進める。その中核施策として、工事マネジメントシステムの導入を行い、業務の標準化と原価管理の徹底を行う。
- 社内での情報共有とコミュニケーション向上のため、社内コミュニケーションツールの導入を行う。

【具体的な施策】

- 工事マネジメントシステムの導入
過去工事実績も含め、営業・工事・管理の情報を共有する。
工事の原価の登録・変更を効率的に行うことができる仕組みを整備する。
工事の見積もりなどの計画を共有化し、案件担当者の業務品質を維持・確保する。
- 社内コミュニケーションツールの導入
カレンダー機能を使い、従業員同士の予定共有をする。
LINE 同様のチャット機能で、情報の伝え忘れなどのトラブルを減らす。
一斉周知の連絡をアップできる掲示板の機能を使い、情報の共有化をする。

【戦略の進め方】

- ・ D X 推進係が主体となり、金融機関等の外部の支援者や D X サービスの提供者と連携しながら、D X 情報を収集し、社内での検討・協議を深め、当社の D X 戦略に最適なデジタル技術の導入を勧めます。

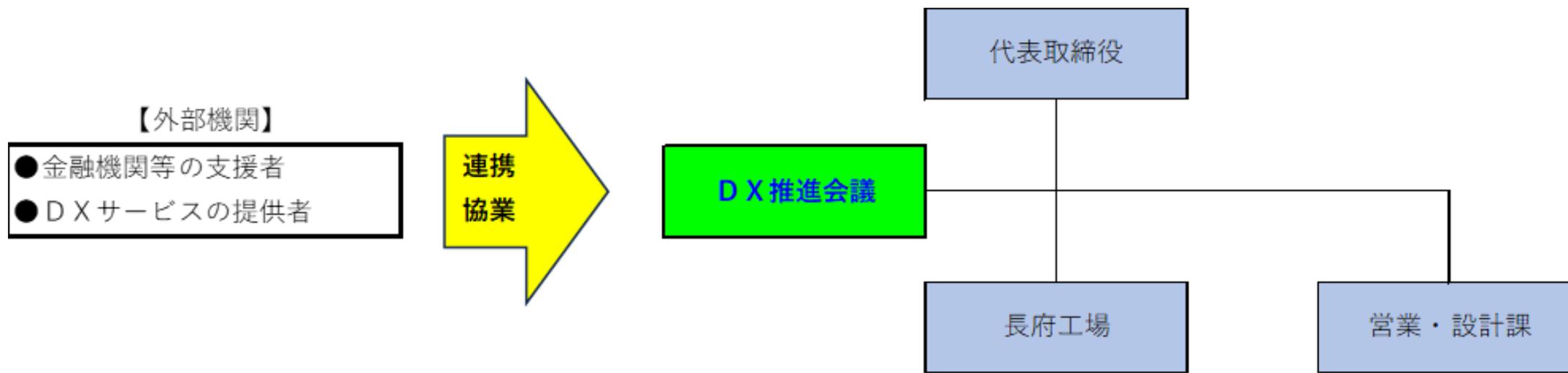
【実現に向けたステップ】

施策	実現タイミング目標		
	2024年	2025年	2026年
工事マネジメントシステム	構想を具現化し、運用を開始。	継続的な拡張	継続的な拡張
社内コミュニケーションツール		継続して使用	継続して使用
リアルタイム経営	<ul style="list-style-type: none">・ データ活用の具体施策確定・ デジタルツールの必要性を検証	収集、見える化された実績データ等を用いて基準に基づいた経営判断を実施	

D X 推進のための体制／人材育成・確保

【組織】

- 代表取締役直下に「D X 推進会議」を設置し、定期的にD X 推進計画の進捗状況を確認するとともにデジタル技術の情報収集を行います。
- 外部機関（金融機関等の支援者やD X サービスの提供者）と連携・協業することで、外部機関のノウハウを社内に取り込んでいきます。



【人材育成】

- 全体的なITリテラシーの底上げを目的に、情報処理技術者試験（ITパスポート試験）をはじめとした、デジタル関連資格の取得を推奨していきます。
- 研修動画やEラーニングにデジタル関連のコンテンツも整備することで社員向けに学習機会を提供します。

【IT環境】

- IoTから発生したデータを蓄積する為のデータベース環境を整備します。
- クラウドを安全に利用するために、ネットワークやセキュリティ対策を実施します。
- デジタルツールの更なる導入に向けてツールの評価方法や効果検証方法等を整備していきます。

Kプロテック株式会社の「情報セキュリティ方針」



セキュリティ対策自己宣言

当社は「SECURITY ACTION宣言 二つ星」を宣言しました。

Kプロテック株式会社（以下、当社）は、当社の情報資産を事故・災害・犯罪などの脅威から守り、お客様ならびに社会の信頼に応えるべく、以下の方針に基づき全社で情報セキュリティに取り組みます。

1. 経営者の責任

当社は、経営者主導で継続的に情報セキュリティの維持・改善に努めます。

2. 社内体制の整備

当社は、情報セキュリティの維持・改善のために組織を設置し、情報セキュリティ対策を社内に徹底・実践してまいります。

3. 役職員の取り組み

当社の役職員は、情報セキュリティのために必要とされる知識、技術を習得し、情報セキュリティへの取り組みを確かなものにするよう努めます。

4. 法令及び契約上の要求事項の遵守

当社は、情報セキュリティに関わる法令、規制、規範、契約上の義務を遵守します。

5. 違反及び将来への対応

当社は、情報セキュリティに関わる法令違反、契約違反を許さず、新たなリスクの発生に対しても、継続的に対策を講じてまいります。

2024年8月20日

Kプロテック株式会社
代表取締役社長 庄島 啓司